

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成30年3月26日

1級受検番号 NO 03F1120011 氏名 E.O. (東京都杉並区在住)

■1級技能士を目指したきっかけ
2014年前期に2級技能士資格を取得した直後、マンツーマン指導してくれた先生からすぐに1級試験も受けるよう勧められたことがきっかけ。受かるわけがないと思って受験したところ、「筆記」は合格、「ロープレ」も「到達」。「論述」で2点足りなかったものの、それほど自分にとって手の届かない試験ではないという自信が得られた。それ以降、一流のキャリアコンを目指す以上、「指導者」資格を取りたいという思いが強くなった。
■当初の勉強法
●5月～10月は「1級技能士の会」の「キャリア塾」に通い、「論述」と「ロープレ」について構造化された記述と面談の進め方について学習。「キャリア塾」の有志で、勉強会を実施。 ●11月から「過去問」「別冊キャリアの赤本(第二版)」「労働白書」等省庁発行の冊子で「学科」の勉強を開始。
■合格のきっかけ
●「キャリア塾」で学んだ構造化された方法論をしっかりと意識したこと。(これは必要不可欠) ●キャリアコンサルタントが理解していなければならない「基礎的なこと」に立ち返ったこと。 例えば「傾聴は、そもそも何のためにするのか」「キャリアコンサルタントの役割は何か」等。 ロープレの中で、そのまま活かすことができた。
■学科試験の勉強
11月に入ってから「別冊キャリアの赤本」「過去問(過去3年間)」「(キャリア塾の)模擬試験問題」を2回ずつ解き、間違えた箇所はノートに写して覚えた。(※仕事が多忙なため、私は11月から勉強を始めたが、できれば9月頃から始めた方がよいと思う)
■論述試験対策
「キャリア塾」で配布されたプリントの要点を頭にたたき込んだ。「論述」の書き方にはパターンがあるので、それを理解してしまえば、本番で失敗することはないと思う。
■面接試験対策
●「キャリア塾」のロープレで先生方から受けたフィードバックや洗練された言い回しを頭にたたき込み、次の回のロープレで実際に使ってみることで消化吸収していった。 ●「事例相談者」と「指導者」の対話を様々なパターンでノートに書き写しながら、一人二役のロープレを机上で展開していった。(本番のロープレ試験で何か起こっても動揺しなくなる) ●「1級技能士会」の「実技試験(論述・面接)合格本(逐語記録DVD付)は直前の学習にたいへん役だった。(ボキャブラリーが増え、試験で使える表現や言い回しを獲得できる)
■受検される方へメッセージ
実技試験の合格率の低さに惑わされないでください。基本をおさえ、ひとつひとつ丁寧に対応していけば、合格はそれほど遠くにあるものではないと思います。 ロープレの練習をするときは、自分のからだに染みついた楽なやり方を繰り返すのではなく、新しいやり方を少しずつ増やしていくと大きな自信につながっていくと思います。